

セタシジミ資源の分析と管理

西森 克浩

◆背景・目的

セタシジミの資源状況を把握して、資源回復のための適切な方策を探るため、セタシジミ資源の分析と、ある管理施策を実施した場合の資源量等の推移を予測した。

◆成果の内容・特徴

- ・殻長15mm以上の資源に対する漁獲率は72%、全資源に対する漁獲率は55%と推定された(図1)。
- ・現在の%SPRは5%と推定された。資源を維持するには%SPRを30%にする必要があるといわれているので、現状はかなりの過剰漁獲状態であると考えられた(図1)。
- ・%SPRを引き上げるには、漁獲率を低下させるか、漁獲開始殻長を引き上げることが必要である(図1)。
- ・漁獲開始殻長15mmでは資源の増加は見込めないが、漁獲開始殻長18mmでは資源の増加が見込め、22mmでは大幅な増加が見込めることが判明した(図2)。
- ・漁獲開始殻長を引き上げてから殻長18mmの場合は1年間、殻長22mmの場合は2年間、漁獲量が大幅に減少することが判明した(図3)。

◆成果の活用・留意点

管理施策を実施した場合、資源動向を詳細に調査し、現実に合うようにモデルを修正するとともに、より実効性があがるように管理施策も修正していく必要がある。

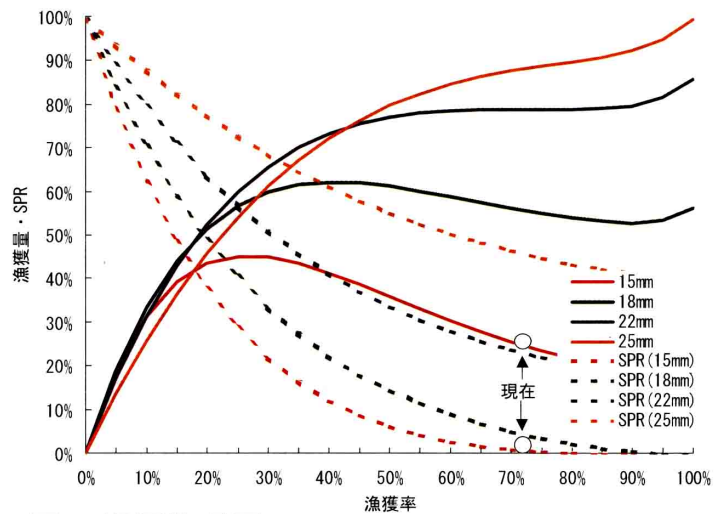


図1 資源管理図

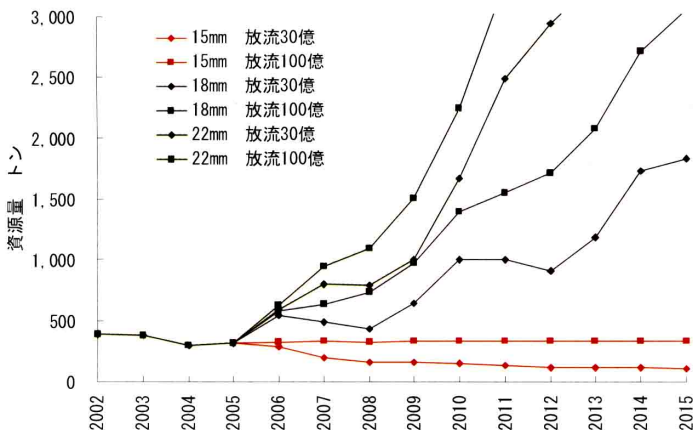


図2 資源量シミュレーション結果

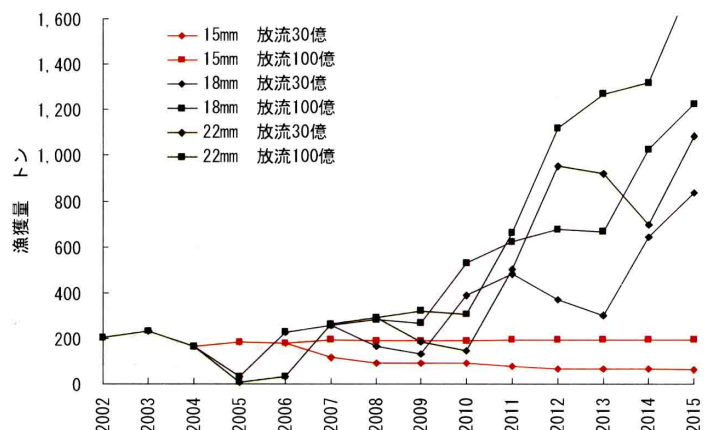


図3 漁獲量シミュレーション結果